

ドマール バイク保管庫

組立説明書【W5,6,7】

このたびは、イナバ物置「ドマール」、イナバガレージ「バイク保管庫」をお買い上げくださいまして誠にありがとうございました。

私たちは、この製品の開発にあたって「良いものを安く」をモットーに、苦心して作り上げました。

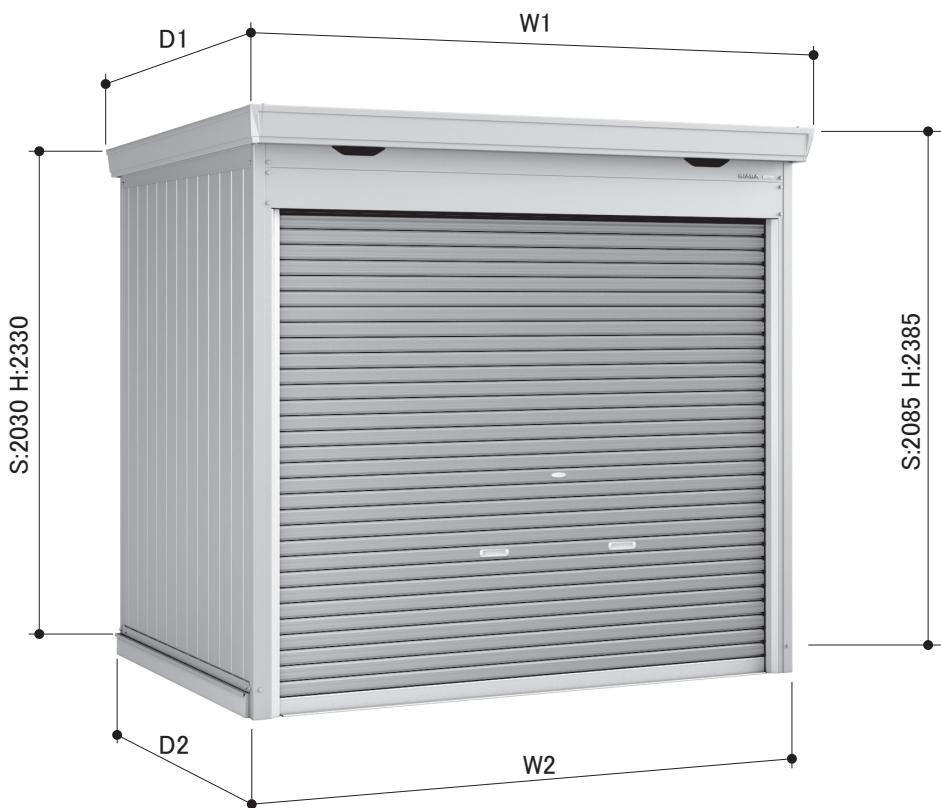
どうぞ末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

なお、この製品の組み立て、ご使用にあたっての注意についてご説明いたしますので、かならずお読みください。

組立説明書の基礎・転倒防止工事(アンカー工事)については標準的施工方法とします。

組立説明書と異なる施工を行う場合は、予め当社にご相談ください。

写真はFF-2618HD



寸法図
(単位:mm)

| 機種 | W1 | W2 | D1 | D2 |
|----------|------|------|------|------|
| FF-2214H | 2320 | 2210 | 1550 | 1370 |
| 2218H | | | 1970 | 1790 |
| 2618H | | | 1970 | 1790 |
| 2622H | 2740 | 2630 | 2390 | 2210 |
| 2626H | | | 2810 | 2630 |
| 2630H | | | 3230 | 3050 |
| 3026H | | | 2810 | 2630 |
| 3030H | 3160 | 3050 | 3230 | 3050 |
| 3035H | | | 3650 | 3470 |

| 機種 | W1 | W2 | D1 | D2 |
|------------|------|------|------|------|
| FM-2226S/H | 2320 | 2210 | 2810 | 2630 |
| 2230S/H | | | 3230 | 3050 |
| 2235S/H | | | 3650 | 3470 |
| 2626S/H | | | 2810 | 2630 |
| 2630S/H | 2740 | 2630 | 3230 | 3050 |
| 2635S/H | | | 3650 | 3470 |

組み立てにあたっての注意事項

- 転倒防止工事を必ず行ってください。
- 風の強い日の組み立ては避けてください。
- ユーザーの組み立てはなるべく2人以上で行ってください。
- 30kg以上の梱包や部材の運搬は、2人以上で行ってください。
- 組み立て時は、ヘルメット・手袋・長袖シャツなどの保護具や脚立等を使用してください。
- 組み立て中は部材の転倒防止のために、つっかい棒やロープなどを使用してください。
- 組み立て途中で放置しないでください。



組立順序のご説明

組み立てにあたって、部品の共通性・互換性を持たせるために、取り付け穴が余分にあけてあります。相手に穴のない所はボルト締めの必要はありません。各取り付け穴は、組み立てを容易にするために余裕を持たせてあります。片寄った締め方をすると、部品が入らなかったり穴が合わない場合がありますので、この場合はネジをゆるめ調整してください。

1. 基礎施工（土間タイプ）

入口部の基礎高さが、地盤面(G.L)かつ土間面(F.L)のどちらからも50~200mm（高基礎仕様の場合：200~500mm）の範囲に納まるように、水盛り・造り方にしたがって根伐・砂利等で地固めをし、下図のように基礎を作ります。

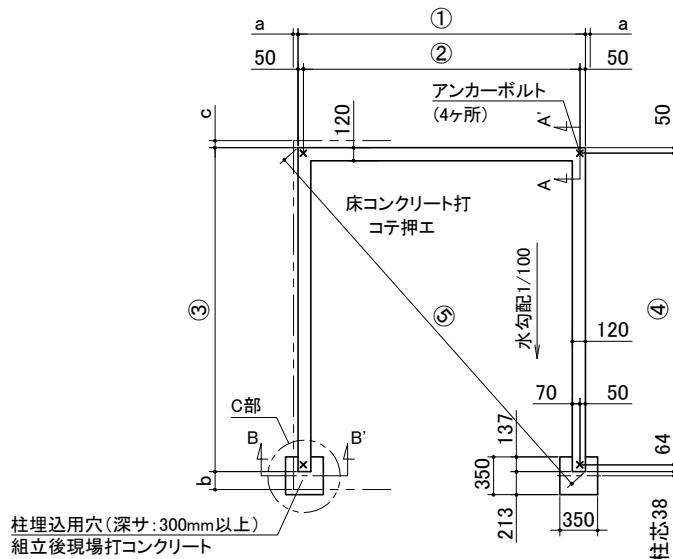
※この説明書における基礎は標準施工図面です。強風地、軟弱な地盤、寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にして下さい。

安全確保のため、転倒防止工事には十分注意してください。

[単位:mm]

× …アンカーボルト位置を示す ----- …屋根のラインを示す a,b,c…屋根の出幅を示す(a=40,b=166,c=65)

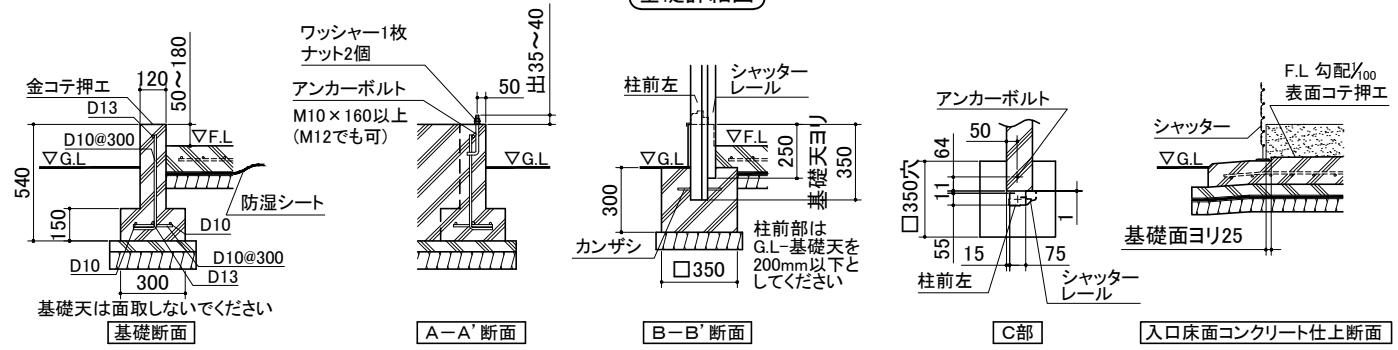
△ 注意
アンカーボルトは布基礎芯ではありません。



基礎寸法一覧

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|-------------|------|------|------|------|--------|
| FF-2214型 | 2240 | 2140 | 1319 | 1205 | 2599.5 |
| FF-2218型 | 2240 | 2140 | 1739 | 1625 | 2835.8 |
| FM-2226型 | 2240 | 2140 | 2579 | 2465 | 3416 |
| FM-2230型 | 2240 | 2140 | 2999 | 2885 | 3743.2 |
| FM-2235型 | 2240 | 2140 | 3419 | 3305 | 4087.4 |
| FF-2618型 | 2660 | 2560 | 1739 | 1625 | 3178 |
| FF-2622型 | 2660 | 2560 | 2159 | 2045 | 3425.9 |
| FF/FM-2626型 | 2660 | 2560 | 2579 | 2465 | 3705 |
| FF/FM-2630型 | 2660 | 2560 | 2999 | 2885 | 4008.7 |
| FM-2635型 | 2660 | 2560 | 3419 | 3305 | 4331.9 |
| FF-3026型 | 3080 | 2980 | 2579 | 2465 | 4017.2 |
| FF-3030型 | 3080 | 2980 | 2999 | 2885 | 4298.9 |
| FF-3035型 | 3080 | 2980 | 3419 | 3305 | 4601.7 |

基礎詳細図



1. 基礎施工（床付タイプ）

置基礎の場合、地ならし、地固めを十分にしてコンクリートブロックを水準器を使って水平に設置します。布基礎の場合、入口部の基礎高さが、地盤面(G.L)から50~200mm（高基礎仕様の場合：200~500mm）の範囲に納まるように、水盛り・造り方にしたがって根伐・砂利等で地固めをし、下図のように基礎を作ります。

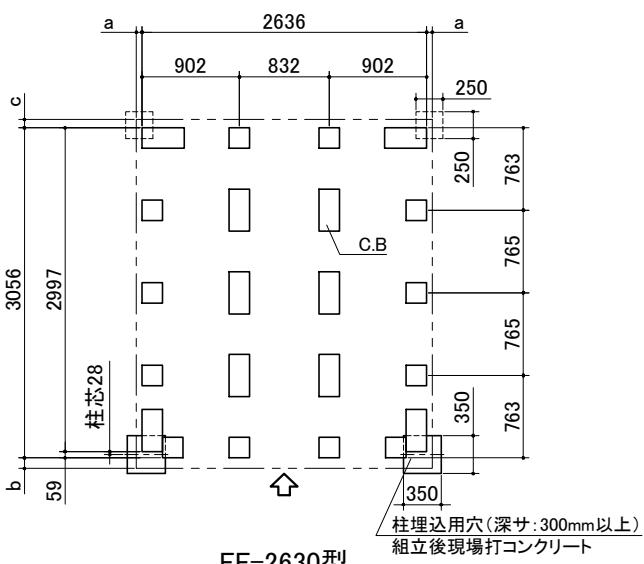
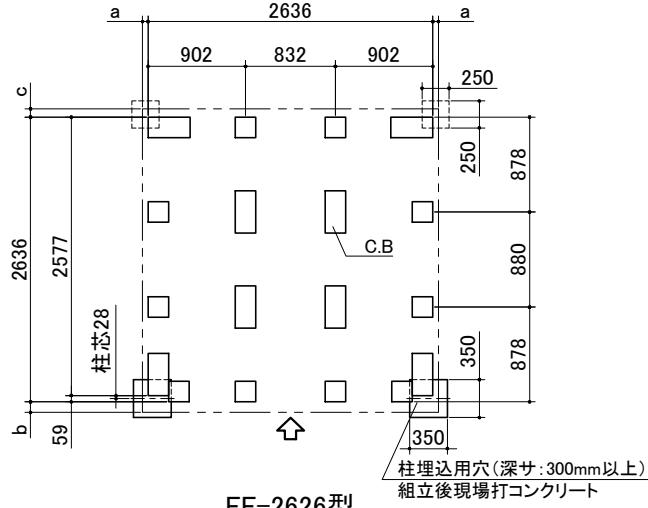
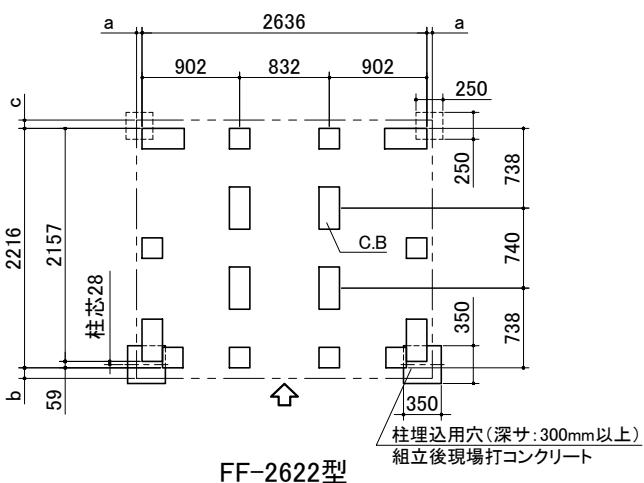
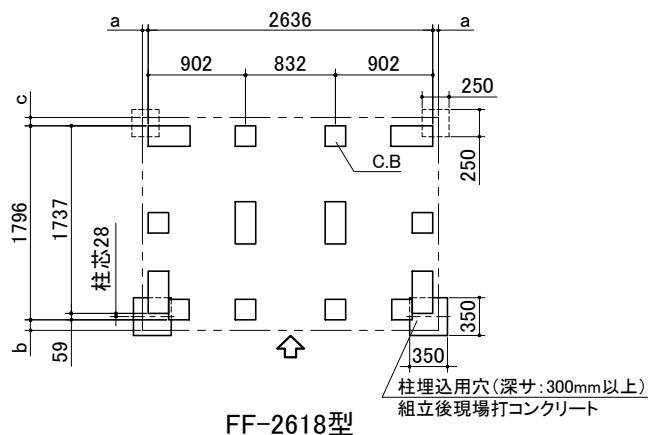
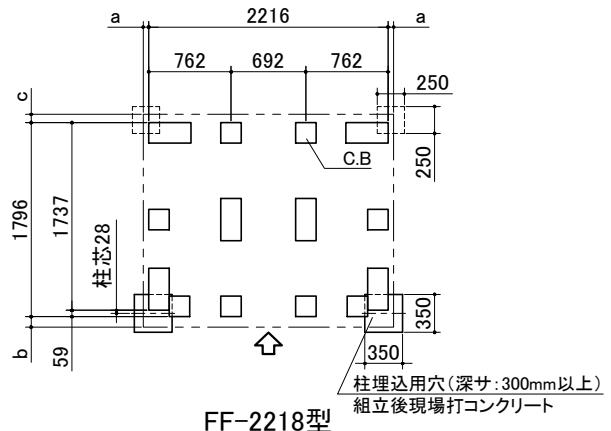
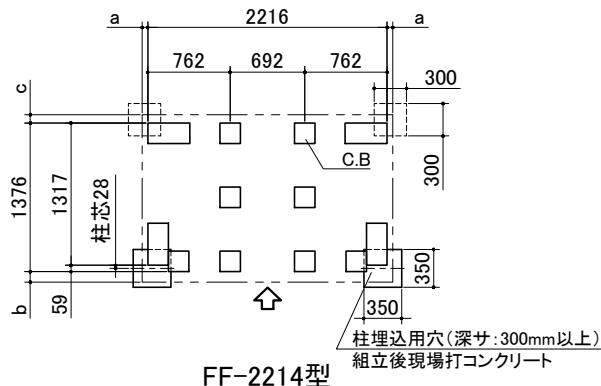
※この説明書における基礎は標準施工図面です。強風地、軟弱な地盤、寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にして下さい。

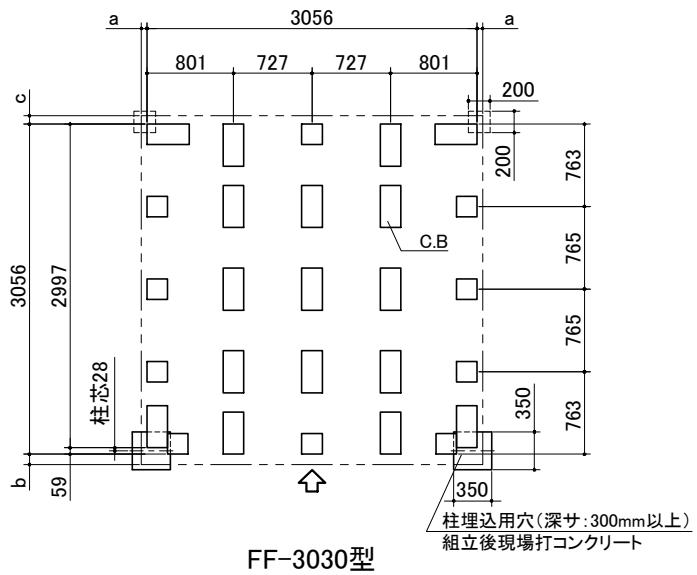
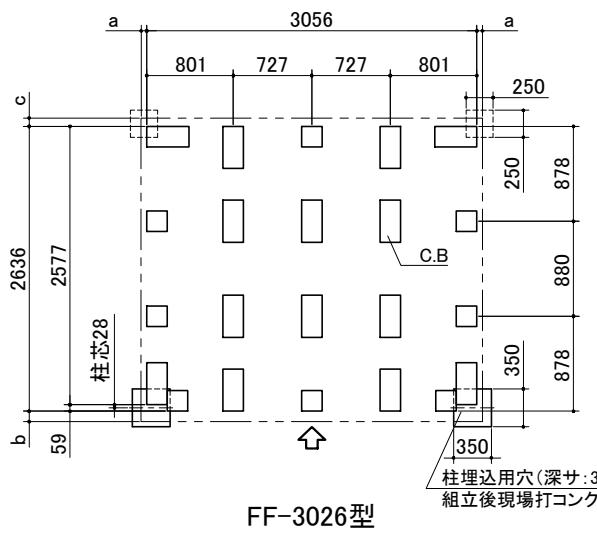
※基礎が水平に置かれていない場合には、雨もり等の原因になることがあります。

安全確保のため、転倒防止工事には十分注意してください。

[単位:mm]

[] …組立後現場打コンクリートを示す …シャッタ一面を示す — — — …屋根のラインを示す C.B:コンクリートブロック(100×190×390, 100×190×190)
a,b,c…屋根の出幅を示す(a=52,b=97,c=77)



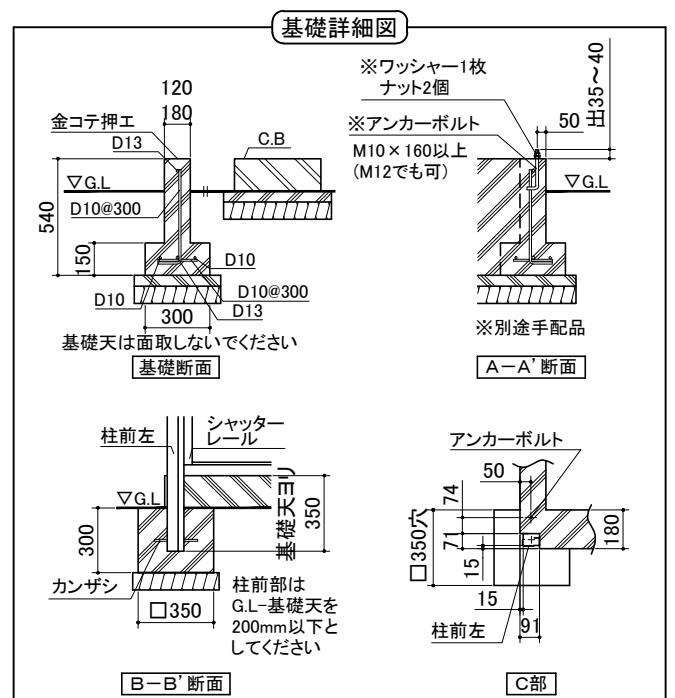
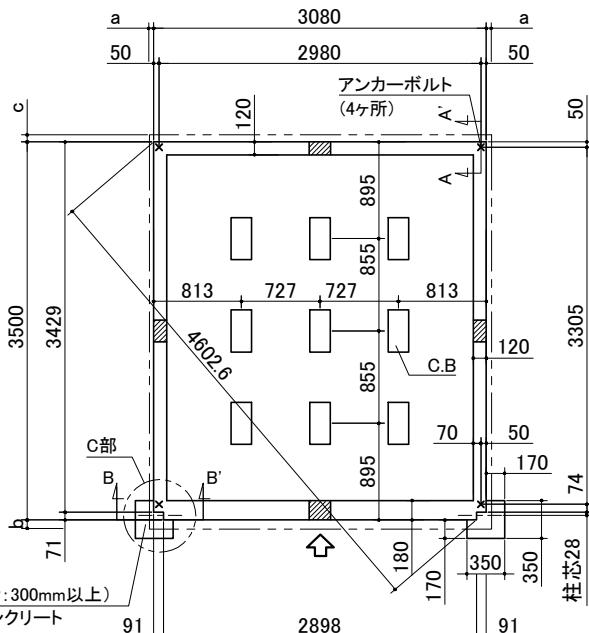


| 基礎詳細 | 柱前部 | アンカ一部(柱後部) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|--|------|------|------|------|------|------|--|------|--|--|------|--|--|------|--|--|------|--|--|------|--|
| | | <p>※機種により基礎の大きさが異なります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>□200</th> <th>□250</th> <th>□300</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3030</td> <td>2218</td> <td>2214</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2618</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2622</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2626</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2630</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>3026</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>A寸法: 100~150mmに対応</p> | □200 | □250 | □300 | 3030 | 2218 | 2214 | | 2618 | | | 2622 | | | 2626 | | | 2630 | | | 3026 | |
| □200 | □250 | □300 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3030 | 2218 | 2214 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2618 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2622 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2626 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2630 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3026 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

[单位:mm]

× …アンカーボルト位置を示す  …床下換気口を示す —— …屋根のラインを示す  …シャッター面を示す C.B…コンクリートブロックを示す
a,b,c…屋根の出幅を示す(a=40,b=85,c=65)

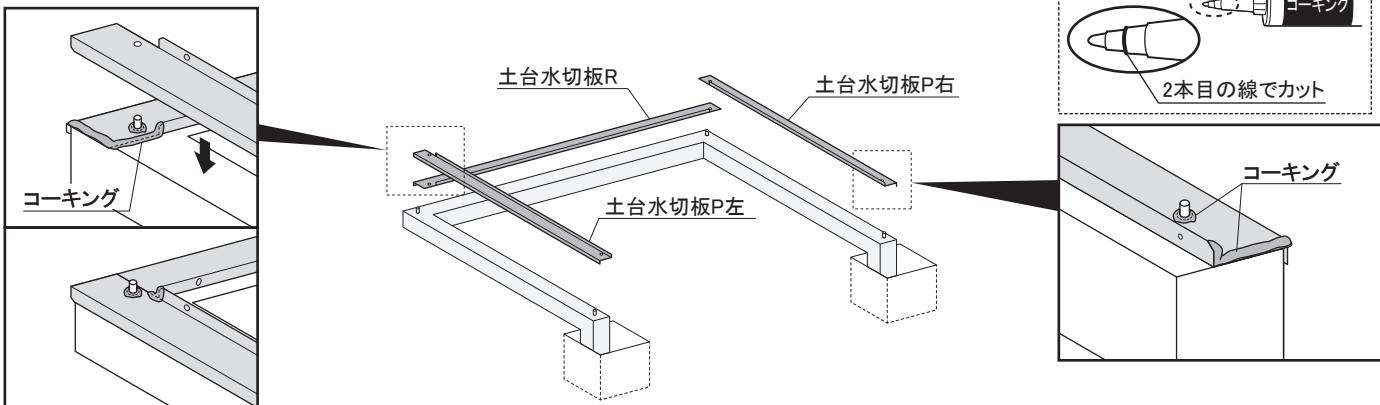
⚠ 注意



2. 土台水切板取付 (※ドマール床付きタイプは取付不要)

土台水切板を基礎にのせ、つなぎ部分とアンカーボルト用の穴を下図のようにコーリングします。

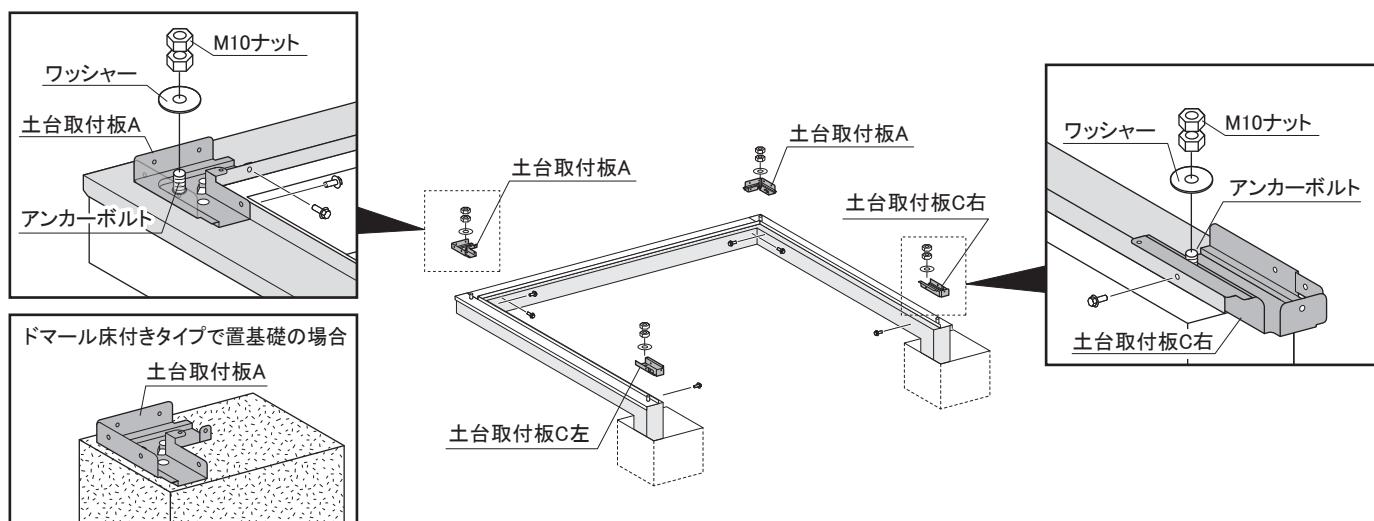
※内部に雨水が侵入する恐れがありますので、必ずコーリングをしてください。コーリングのノズルは、2本目の線でカットしてください。(φ8程度)



3. 土台取付板取付

土台取付板A、Cを土台水切板にM6ボルトで取り付け、ワッシャー、ナットをアンカーボルトに仮止めします。

※ドマール床付きタイプで置基礎の場合はブロックの上に置くだけになります。



M6ボルト:6本

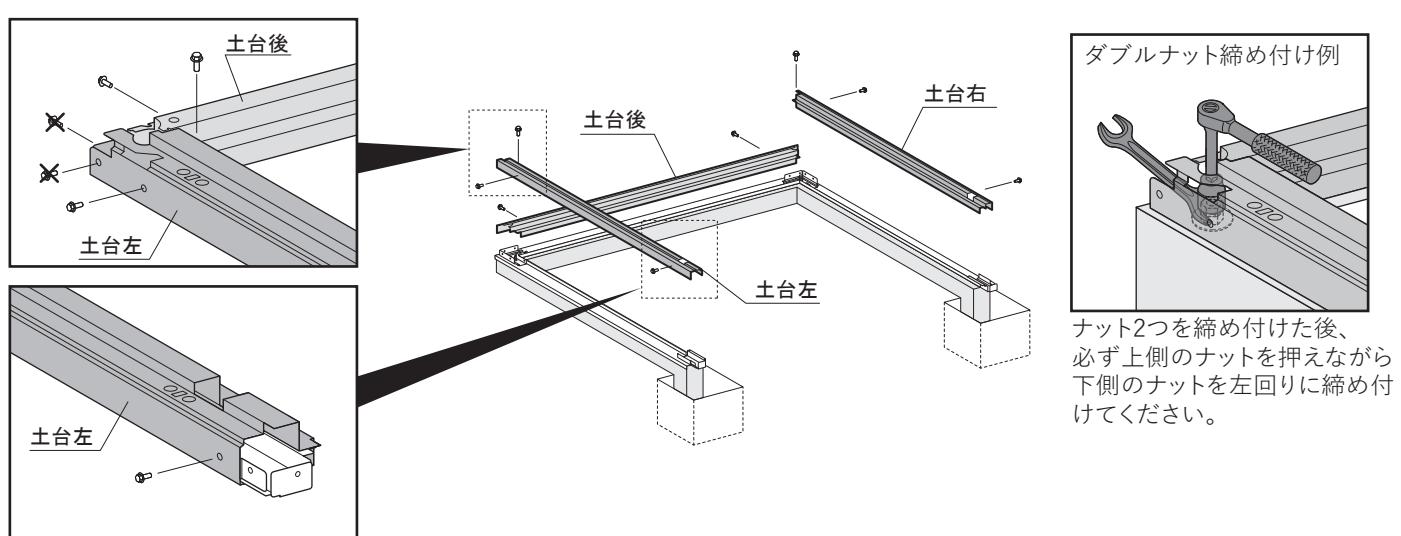
4. 土台取付

①土台後を土台取付板Aにかぶせます。次に土台右・左を土台後と土台取付板Cにかぶせ、ボルトを仮止めします。
直角を出してからボルトを本締めしてください。

※外側隅部の穴はボルトをとめないでください。(柱の取り付けができなくなります。)

②仮止めしてあったアンカーボルトを締めます。

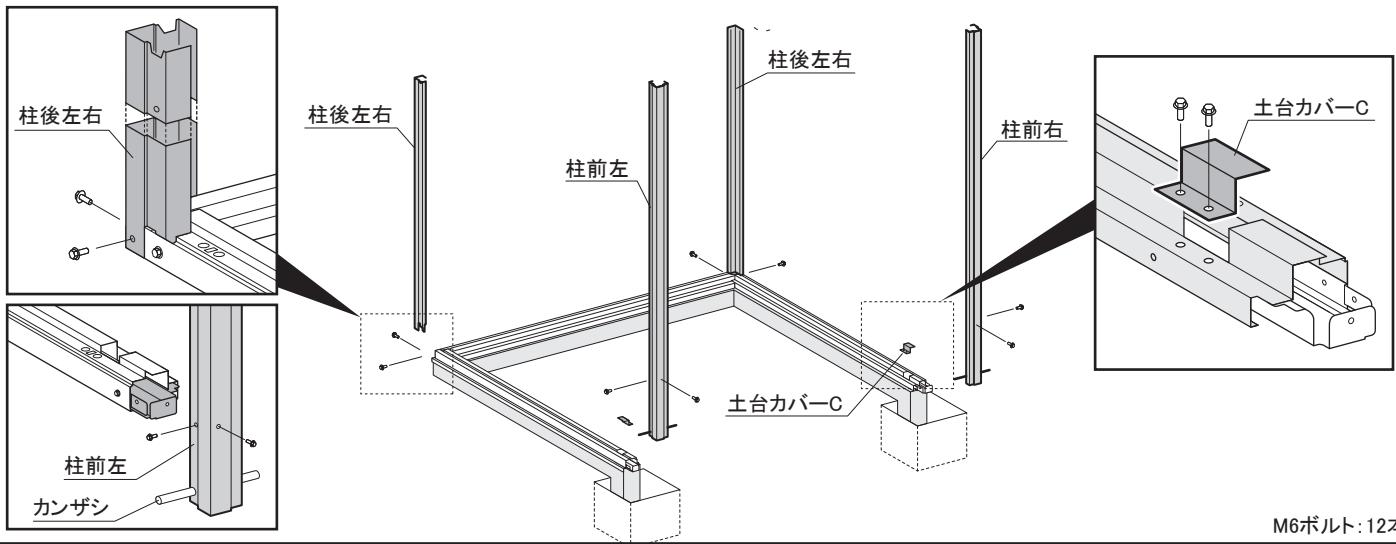
※アンカーボルトはダブルナット(ナット2つ)によるゆるみ止めを確実におこなってください。



M6ボルト:8本

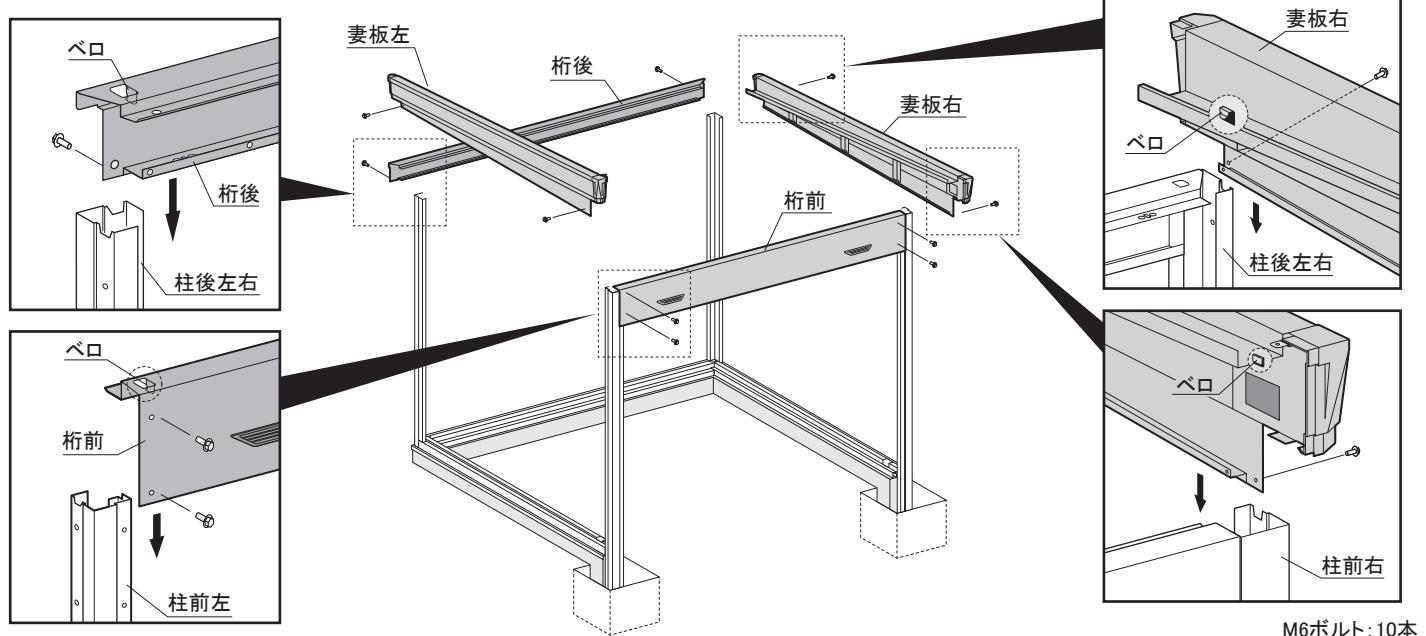
5.柱取付

- ①柱後左右を土台に差し込みボルトで取り付けます。
- ②柱前右、柱前左にカンザシを入れ、土台取付板Cにボルトで取り付けます。
- ③土台カバーCを土台にボルトで取り付けます。



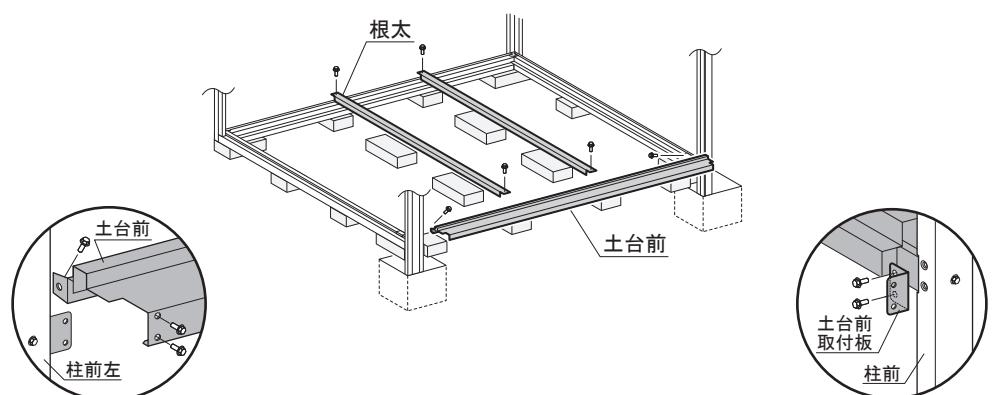
6.桁・妻板取付

- ①桁前、桁後のベロを柱にひっかけボルトで取り付けます。
- ②妻板のベロを柱にひっかけ、ボルトで取り付けます。



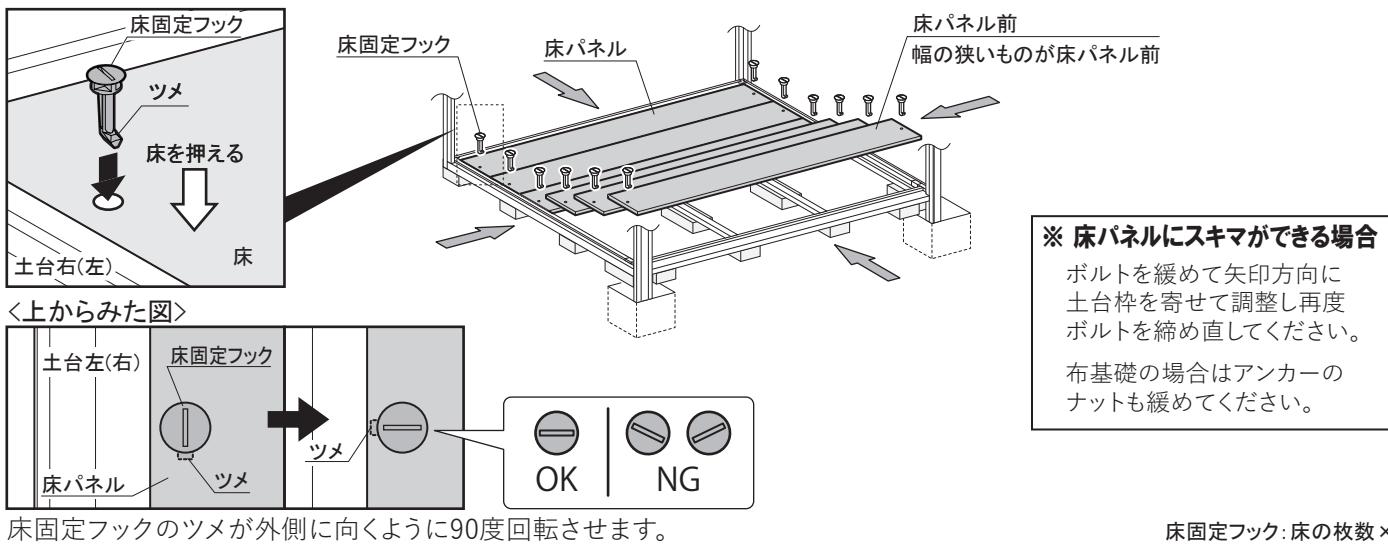
7.根太取付(ドマール床付きのみ)

- ①土台前取付板を柱前にボルトで取り付け、そこに土台前をボルトで取り付けます。
- ②根太のベロを土台前後の角穴に入れ、ボルトで取り付けます。



8.床パネル取付(ドマール床付きのみ)

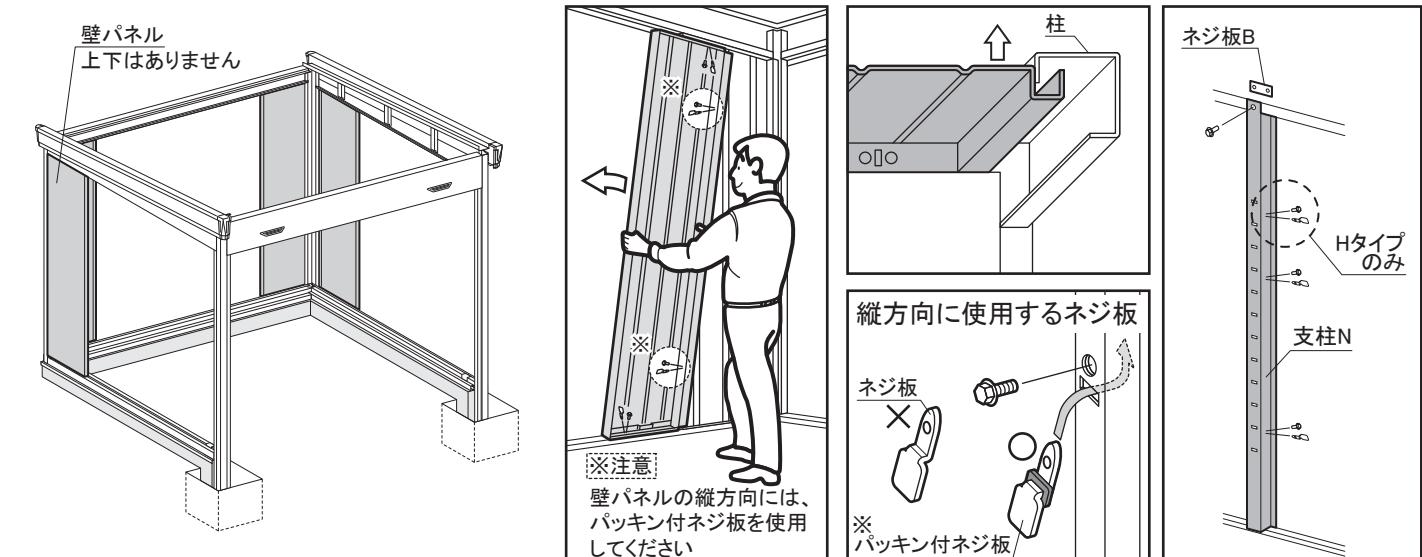
- 床パネル前と床パネルをはめ込みます。
- 床を押さえながら床固定フックをコインやネジ板等を使い取り付けます。



9.壁パネル取付

壁パネル4枚を下図のように内側から柱後にボルトとネジ板で取り付けます。(ゆがみや倒れの防止になります。)

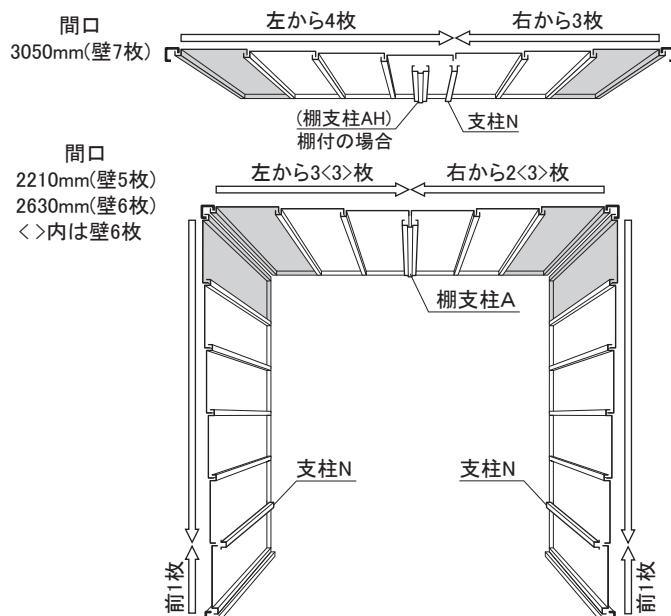
※下図の壁パネルの位置に別売のガラス窓等が付く場合は、壁パネルの取り付けは不要です。



●壁パネル組合せ図

壁パネルの組立順が違いますと、棚板が付かない・雨もりがする等の原因となります。

※ 部以外の壁パネルは、「14.鼻隠し取付」で取り付けてください。



【ボルト・ネジ板数】

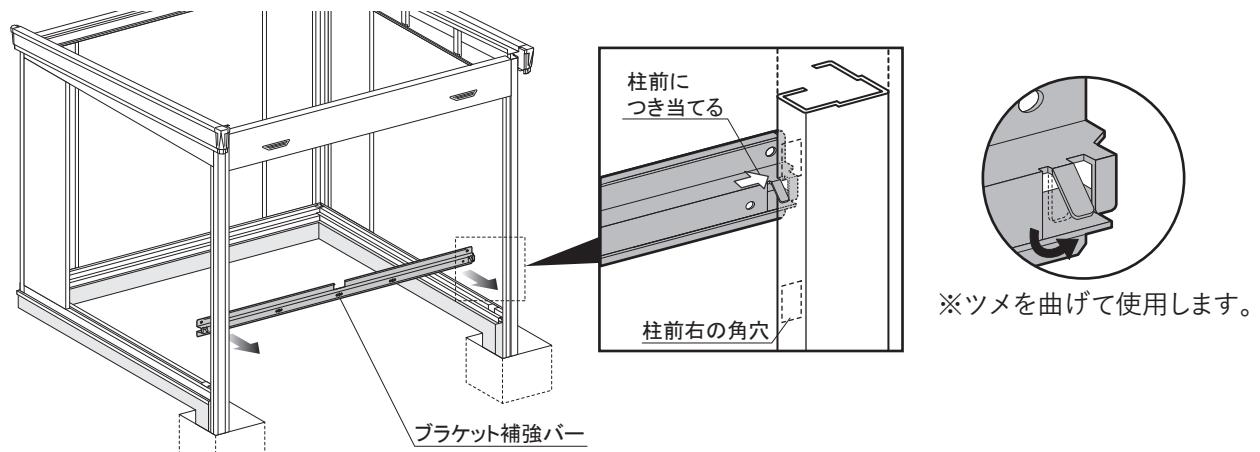
| 機種 | 2214 | 2218 | 2226 | | 2230 | | 2235H | |
|----------|------|------|------|----|------|-----|-------|-----|
| | H | H | S | H | S | H | S | 108 |
| M6ボルト | 68 | 76 | 88 | 92 | 96 | 100 | 104 | |
| ネジ板 | 34 | 38 | 46 | | 50 | | 54 | 52 |
| パッキン付ネジ板 | 32 | 36 | 40 | 44 | 44 | 48 | 48 | |
| ネジ板B | 2 | 2 | 2 | | 2 | | 2 | |

| 機種 | 2618 | 2622 | 2626 | | 2630 | | 2635H | |
|----------|------|------|------|----|------|-----|-------|-----|
| | H | H | S | H | S | H | S | 112 |
| M6ボルト | 80 | 88 | 92 | 96 | 100 | 104 | 108 | |
| ネジ板 | 40 | 44 | 48 | | 52 | | 56 | 54 |
| パッキン付ネジ板 | 38 | 42 | 42 | 46 | 46 | 50 | 50 | |
| ネジ板B | 2 | 2 | 2 | | 2 | | 2 | |

| 機種 | 3026 | 3030 | 3035 |
|----------|------|------|------|
| | H | H | H |
| M6ボルト | 101 | 109 | 117 |
| ネジ板 | 51 | 55 | 59 |
| パッキン付ネジ板 | 47 | 51 | 55 |
| ネジ板B | 3 | 3 | 3 |

10. ブラケット補強バー取付(ドマール床付きの場合は不要)

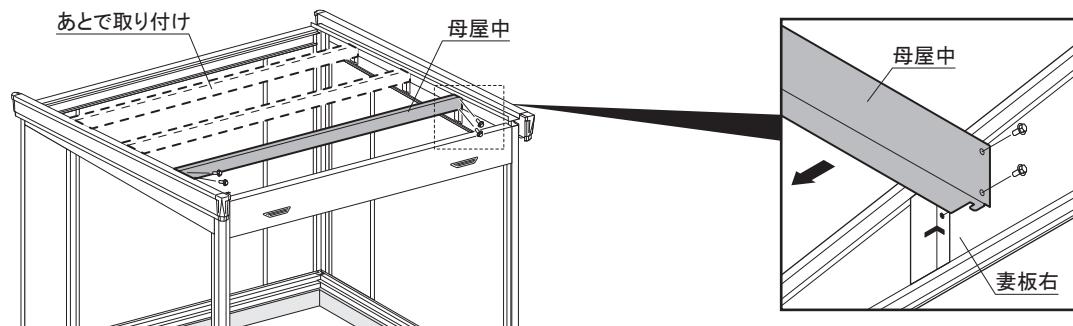
ブラケット補強バーの両端にあるツメをプライヤーやマイナスドライバー等で曲げ、柱前の下部に引っかけて柱位置を確認します。



11. 母屋中取付

母屋中を妻板左右の母屋受けにはめ込み、ボルトで取り付けます。

母屋中が2本以上ある場合は一番前側の1本だけ取り付け、残りは「13.屋根パネル取付」の後に取り付けると安全に組み立てができます。

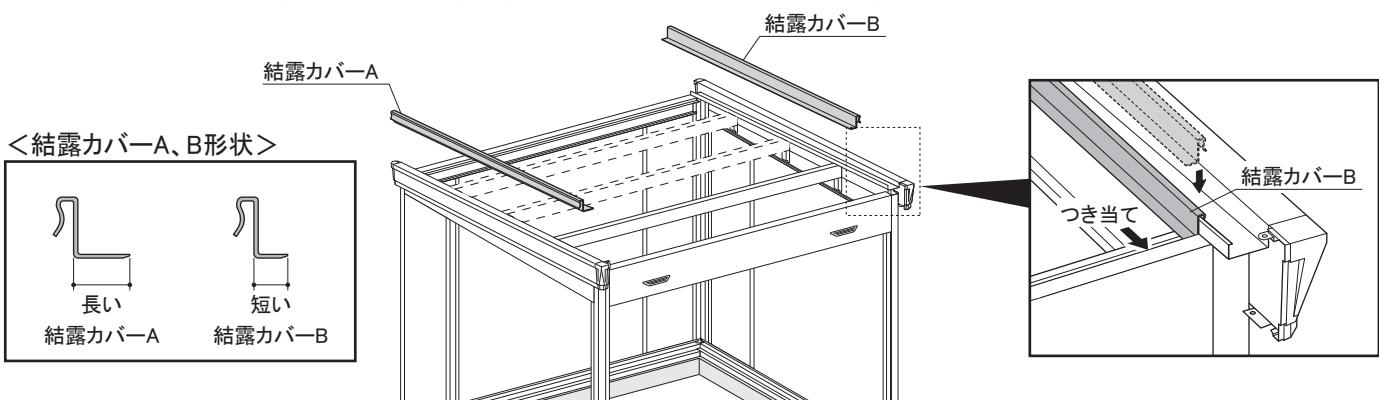


M6ボルト: 母屋中の本数 × 4本

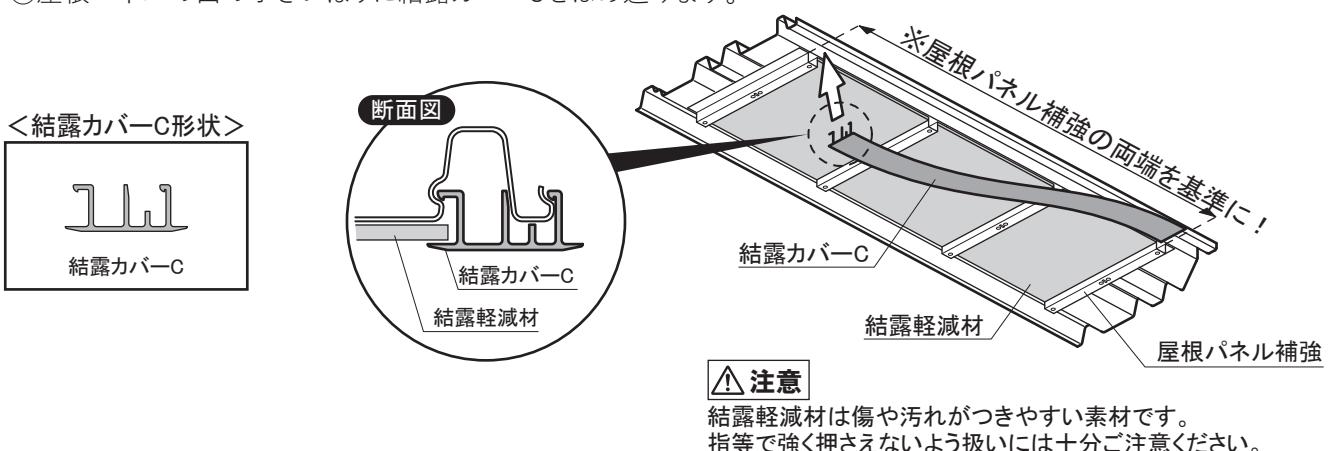
12. 結露カバーの取付(オプション結露軽減材付き屋根のみ)

①結露カバーAと結露カバーBを妻板にはめ込みます。

※結露カバーAとBは形状が似ています。形状を確認して取り付けてください。

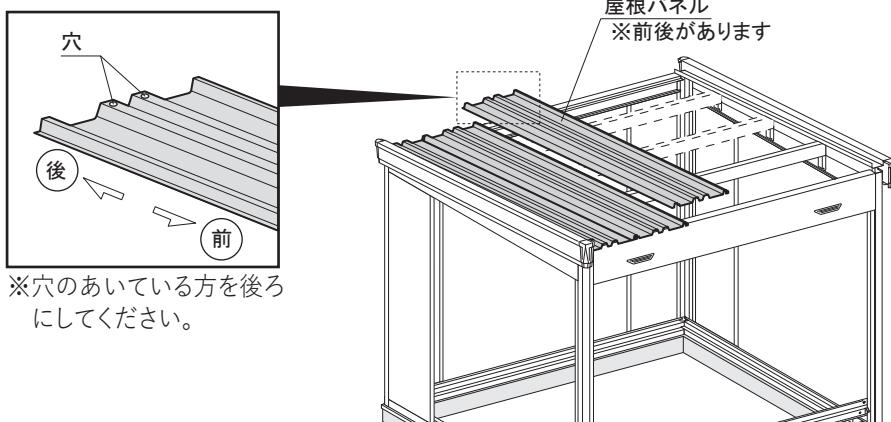


②屋根パネルの山の小さいほうに結露カバーCをはめ込みます。



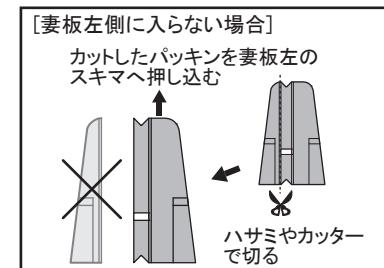
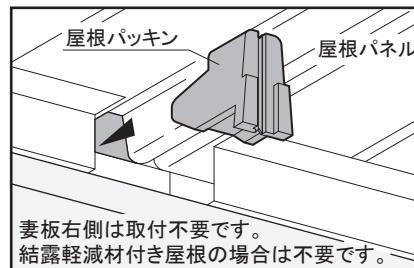
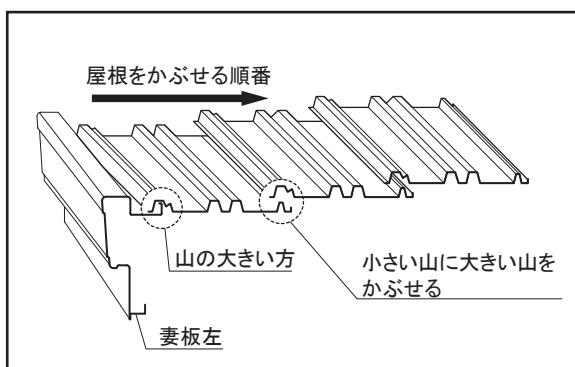
13.屋根パネル取付

- ①屋根パネルを妻板左からつなぎ目をかみ合せてのせ、桁前・桁後・母屋中にボルトで取り付けます。
- ②屋根パッキンを桁後と屋根パネルのつなぎ目に押し込みます。結露軽減材付き屋根の場合は取り付けません。



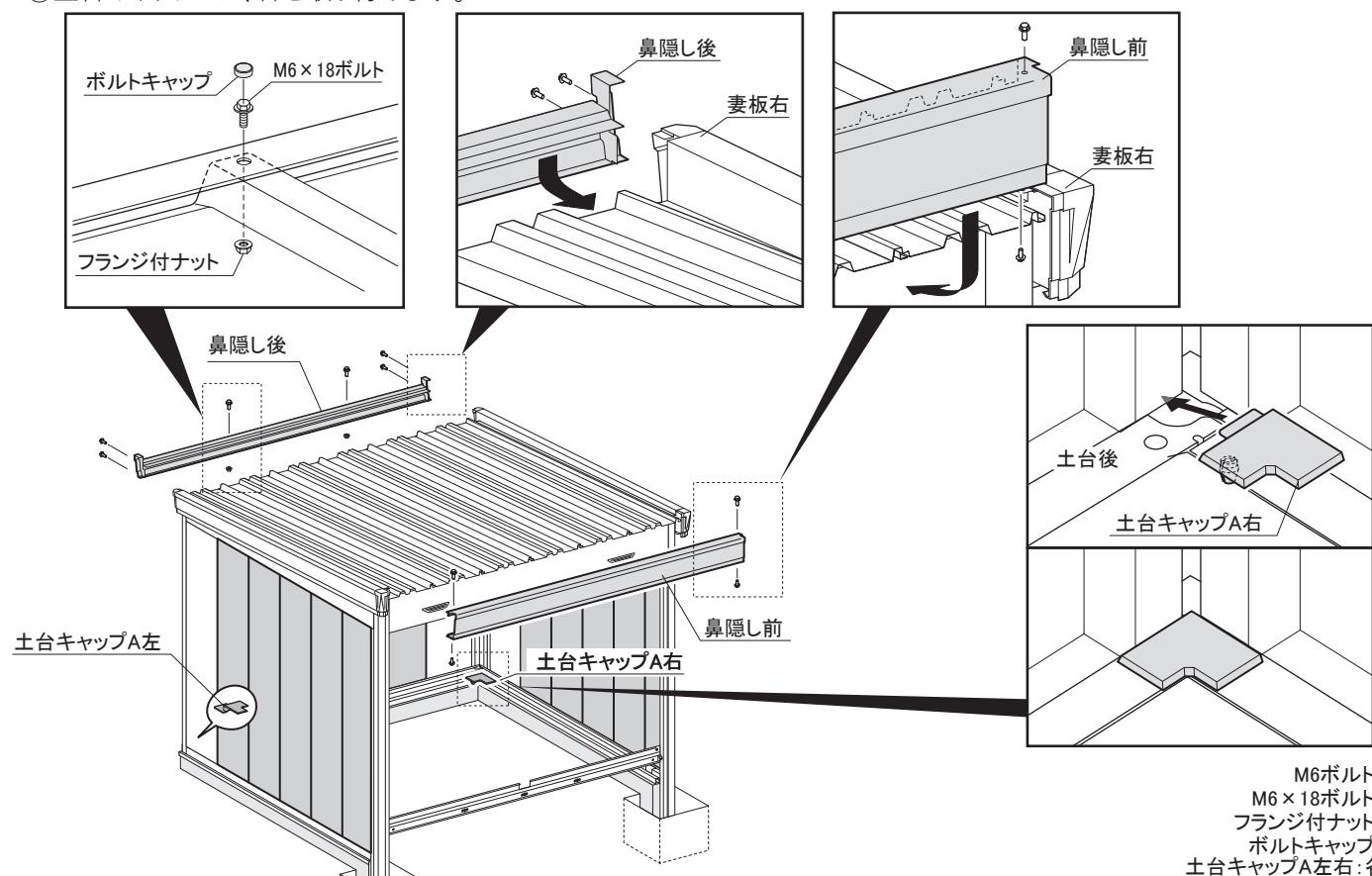
【M6ボルト使用数】

| 機種 | 2214 | 2218 | 2226 | 2230 | 2235 | 2618 | 2622 | 2626 | 2630 | 2635 | 3026 | 3030 | 3035 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 数 | 30本 | 40本 | 50本 | 50本 | 60本 | 48本 | 48本 | 60本 | 60本 | 72本 | 70本 | 70本 | 84本 |



14.鼻隠し・土台キャップA取付

- ①鼻隠し前、鼻隠し後を屋根にかぶせてボルトで取り付けます。
- ②壁パネルを「9.壁パネル取付」の●壁パネル組合せ図に従って全て取り付けます。
- ※別売の雨といやガラス窓は、ここで取り付けます。
- ③土台キャップA左、右を取り付けます。



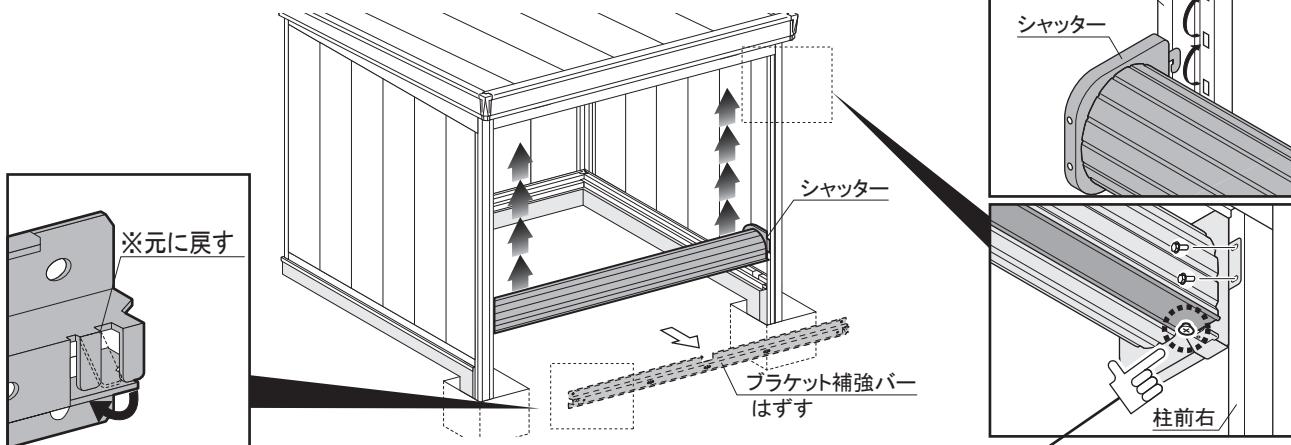
15.シャッター取付

①ブラケット補強バーをはずします。

※「10.ブラケット補強バー取付」で曲げたツメは必ず元に戻してください。別売オプション「シャッターケース」の取り付けができなくなります。

②シャッターブラケットのツメを柱前の角穴に入れ左右交互に持ち上げます。ツメが1番上の角穴に入ったら、ブラケットを柱前にボルトで取り付けます。

※安全のため、ツメが角穴に入ったのを確認しながら徐々に持ち上げてください。



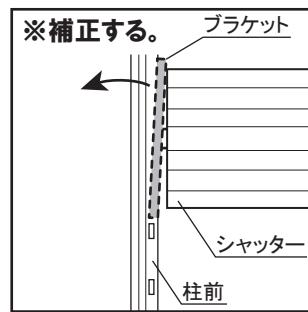
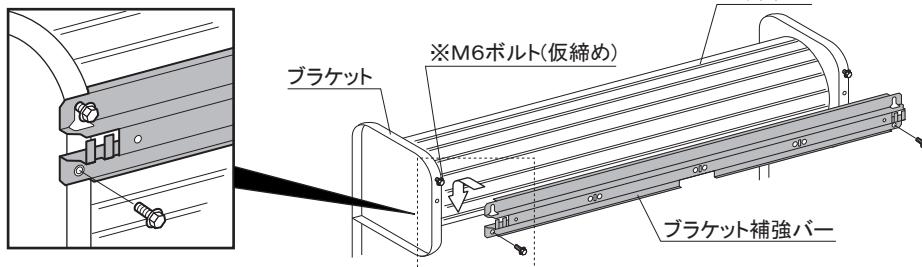
このネジは、「18.シャッターカバー取付」まで絶対にははずさないでください。
※大ケガをする恐れがあります。

16.ブラケット補強バー取付

ブラケットの一番上のネジ穴にボルトを仮締めし、ブラケット補強バーをそのボルトに引っかけます。

ブラケットのゆがみを補正し本締めしてから、下のボルトを取り付けます。

※ブラケットがゆがんだままですると、異音や故障の原因になります。

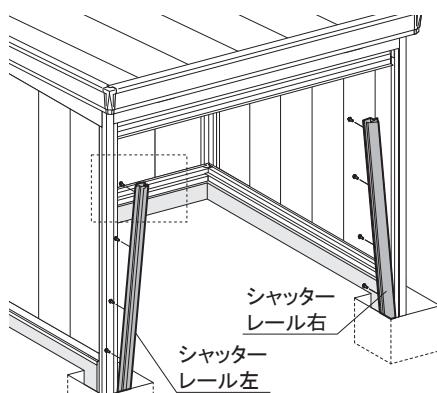
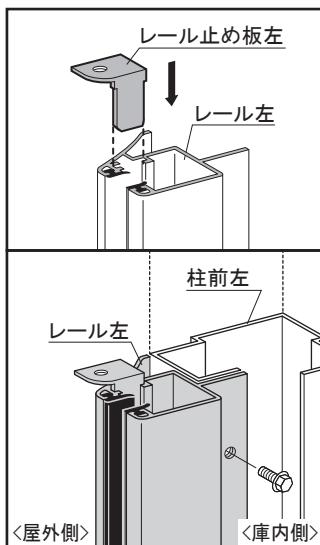


M6ボルト:4本

17.シャッターレール取付

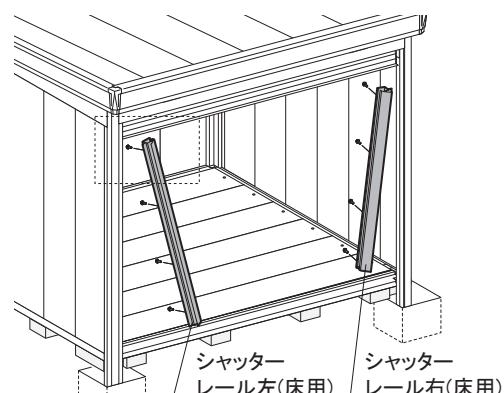
シャッターレール左右上部にレール止め板をたたき込み、柱前にボルトで取り付けます。

ドマール土間、バイク保管庫の場合



ドマール床付きの場合

※レールが取り付けにくい場合は、シャッターを持ち上げた状態で固定し直してください。



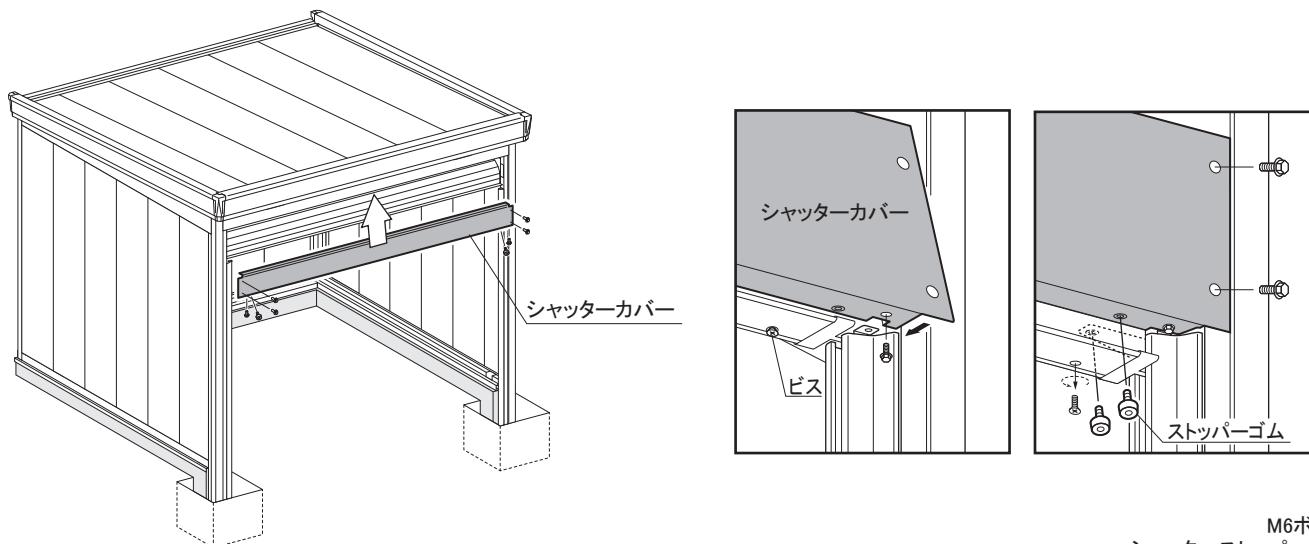
土台を傷つけないように注意してください。

M6ボルト:8本

18.シャッターカバー取付

①シャッターカバーを桁前にはめ、レール止め板とボルトで取り付けます。

②シャッターを止めているビスをはずし、ストッパーゴムを取り付けます



M6ボルト:6本
シャッターストッパーゴム:4個

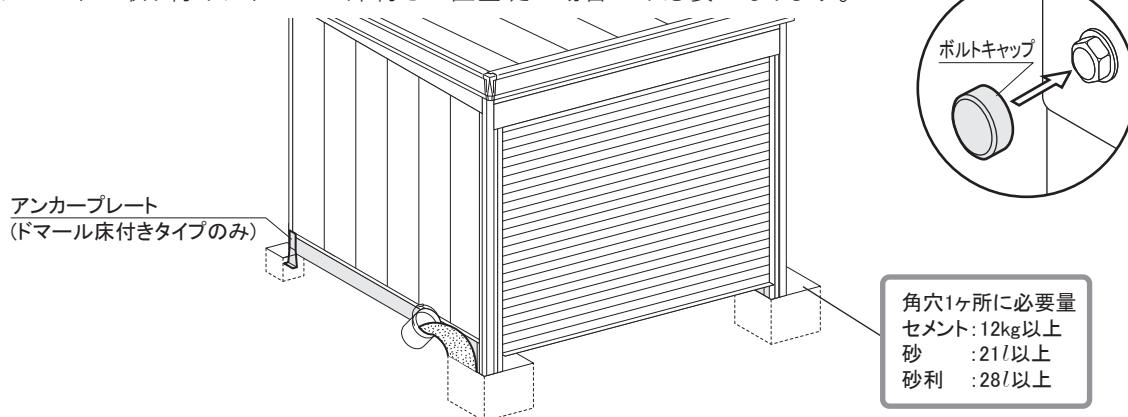
19.柱埋め込み・(アンカープレート取付(ドマール床付きで置基礎の場合))

①間口寸法と柱前の垂直・通りを確認し、コンクリートを打ち込みます。

②外に出てるボルトにボルトキャップを取り付けます。

③部品箱内にある機種シールを所定の位置に貼り付けます。

※アンカープレートの取り付けはドマール床付きで置基礎の場合のみ必要になります。



ドマール床付きタイプで置基礎の場合

地盤が土の場合:

柱後側は25cm角の穴を掘り、アンカープレートを取り付け、コンクリートを打ち込みます。

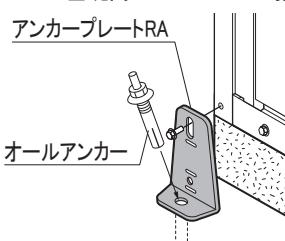
角穴1ヶ所に必要量
セメント:5kg以上
砂:9l以上
砂利:12l以上

アンカープレートRA+RB

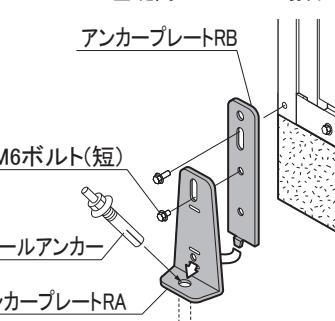
地盤がコンクリートの場合:

柱についているボルトをはずし、アンカープレートを取り付け、M10オールアンカー(市販品)で固定します。

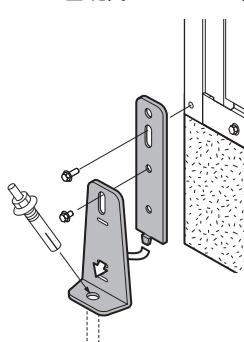
■基礎高100~120mmの場合



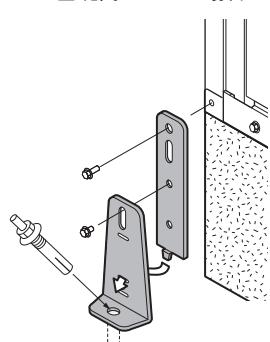
■基礎高140~155の場合



■基礎高155~175の場合



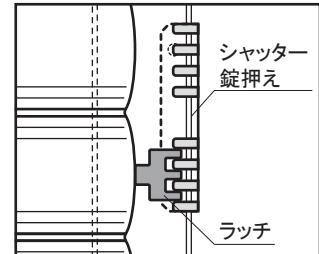
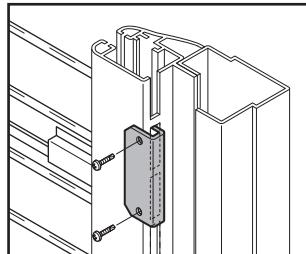
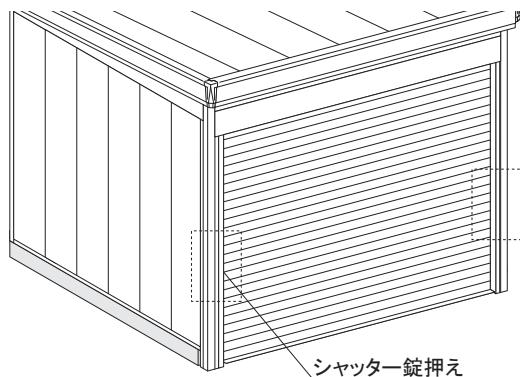
■基礎高190mmの場合



20.シャッター錠押え取付

中からシャッターを閉めツマミで施錠し、シャッター錠押えをシャッターレールの角穴からラッチにかませ、テクスネジで取り付けます。

※土間打ち後、ラッチが上がる可能性があるため、シャッター錠押えの下部にラッチをかませてください。



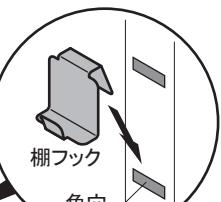
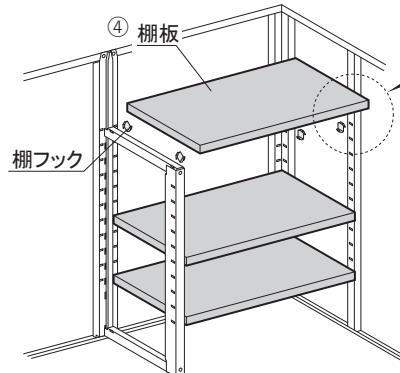
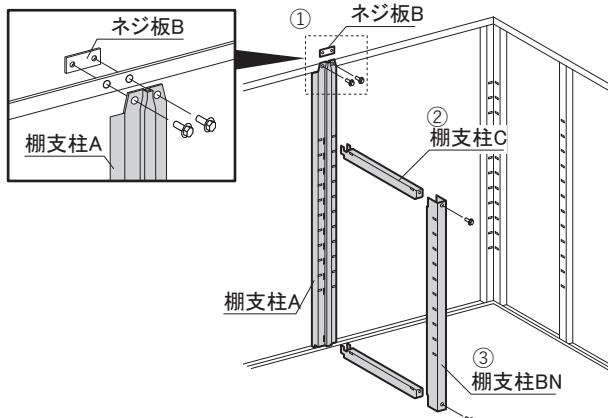
φ 4 × 10 テクスネジ = 4本

21.棚支柱・棚板取付 (棚板付の時)

機種により棚板の取付位置が異なります。該当機種の棚板の位置を確認し、棚板の取り付けをおこなってください。

- ①棚支柱Aの下部を土台後の角穴に差し込み、上部をボルトとネジ板Bで取り付けます。
- ②棚支柱CをAの上下の角穴に差し込みます。
- ③棚支柱BNをCとボルトで取り付けます。
- ④角穴に棚フックを差し込み、棚板をのせます。

※棚フックは棚板の4隅に取り付けてください。棚フックは棚板梱包内にあります。



ツメの大きいほうを角穴に差し込んでください。

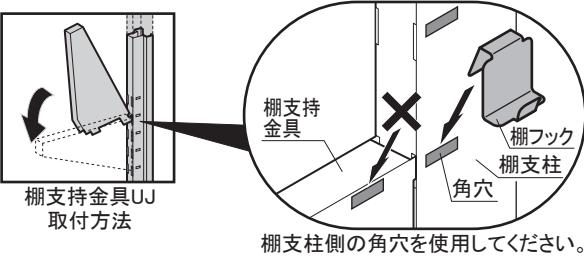
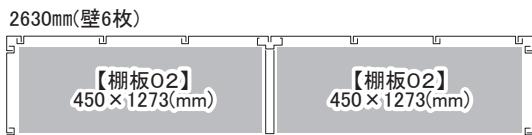
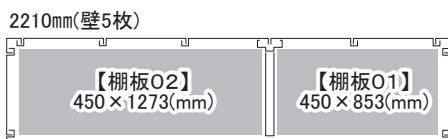
M6ボルト: 4本
ネジ板B: 1枚

22.組立が完了したら！

部品箱内の保管ケースに取扱説明書・組立説明書を入れ、壁パネル内側の高さ140cmくらいの位置に貼り付けて保管してください。

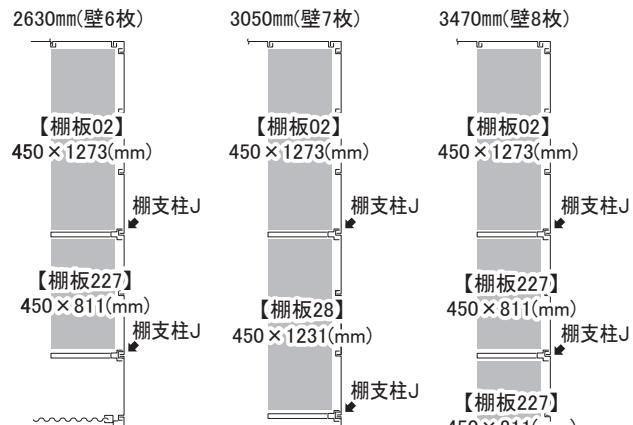
◆バイク保管庫別売棚板配置

別売棚Dセット(後面棚)

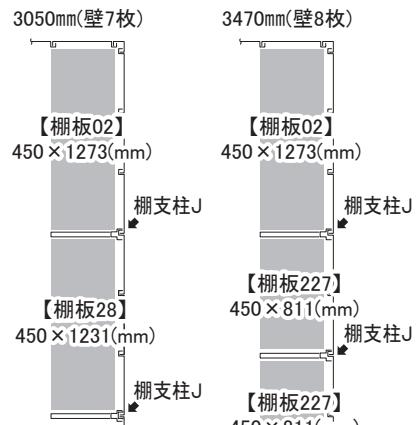


別売棚Cセット(側面棚)

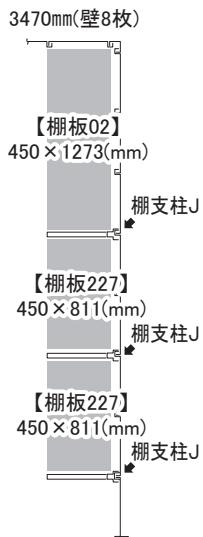
2630mm(壁6枚)



3050mm(壁7枚)



3470mm(壁8枚)



棚支柱の取り付け方法は
棚支柱に同梱の組立説明書を参照してください。